海とともに発展した都市

地勢

横須賀港は、神奈川県中央部より南東へ突き出した三浦半島の東岸、北緯 35 度 12 分～ 35 度 19 分、東経 139 度 38 分～ 139 度 45 分の東京湾口部にあり、東側は東京湾を 6 海里（11.1 ㎞）隔てて房総半島と相対し、北側は横浜を経て東京に陸路 55 ㎞、海路 25 海里（46.3 ㎞）に位置しています。

海岸線は多数の入江を形成し、水際付近まで深い水深となっています。背後は高さ 50 ～ 100m前後の起伏ある丘陵に囲まれ、開口部が狭隘であることから、天然の良港となっています。港内は穏やかで湾奥は台風時にあっても安全な泊地条件に恵まれ、船舶の出入に適しています。相模湾に面した西側は漁港区域となっており漁港が整備されています。

沿革

慶応元年（1865 年）、徳川幕府の勘定奉行であった小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に製鉄所（造船所）の建設を開始したのが横須賀港の起源です。その後、明治 17 年（1884 年）に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展を遂げてきました。

終戦後、横須賀港は、昭和 23 年（1948 年）1 月 1 日に貿易港の指定を受け、昭和 25 年（1950 年）には「旧軍港市転換法」の施行によって、横須賀市は「平和産業港湾都市」として新たな歩みをはじめ、昭和 26 年（1951 年）1 月 19 日に港湾法の規定により横須賀港が「重要港湾」に、また同年 9 月 22 日には「準特定重要港湾」（国内産業開発上特に重要な港湾）に指定され、その後、昭和 28 年（1953 年）4 月 1 日に横須賀市が港湾管理者となりました。

横須賀港は、昭和 42 年（1967 年）9 月に策定した横須賀港港湾計画に基づき整備が進められ、その後変更、改訂を重ねたのち、令和 6 年（2024 年）6 月に改訂を行い、現在に至っています。北の追浜地区から南の野比地区まで 13 の地区からなり、各地区特色をもった港湾が形成されています。

市勢

市域面積： 100.80 ㎢（東西約 15.5 ㎞、南北約 15.8 ㎞）
国土地理院公表値（令和7年 10 月1日現在）

人 口 ： 365,561 人　166,145 世帯
推計人口（令和8年2月1日現在）

産 業 ：経済センサス活動調査（令和3年6月1日現在）
事業所数　11,677 事業所　従業者数 118,198 人
商 業　2,160 事業所　従業者数 19,864 人
年間商品販売額 5,021 億 6,835 万円
工 業　203 事業所　従業者数 14,389 人
製造品出荷額等 5,102 億 3,258 万円
農 業　総農家数 571 戸　経営耕地総面積 38,073a
農林業センサス（令和2年2月1日現在）
漁 業　経営形態 252 経営体　漁船隻数 511 隻
漁業センサス（令和5年 11 月1日現在）

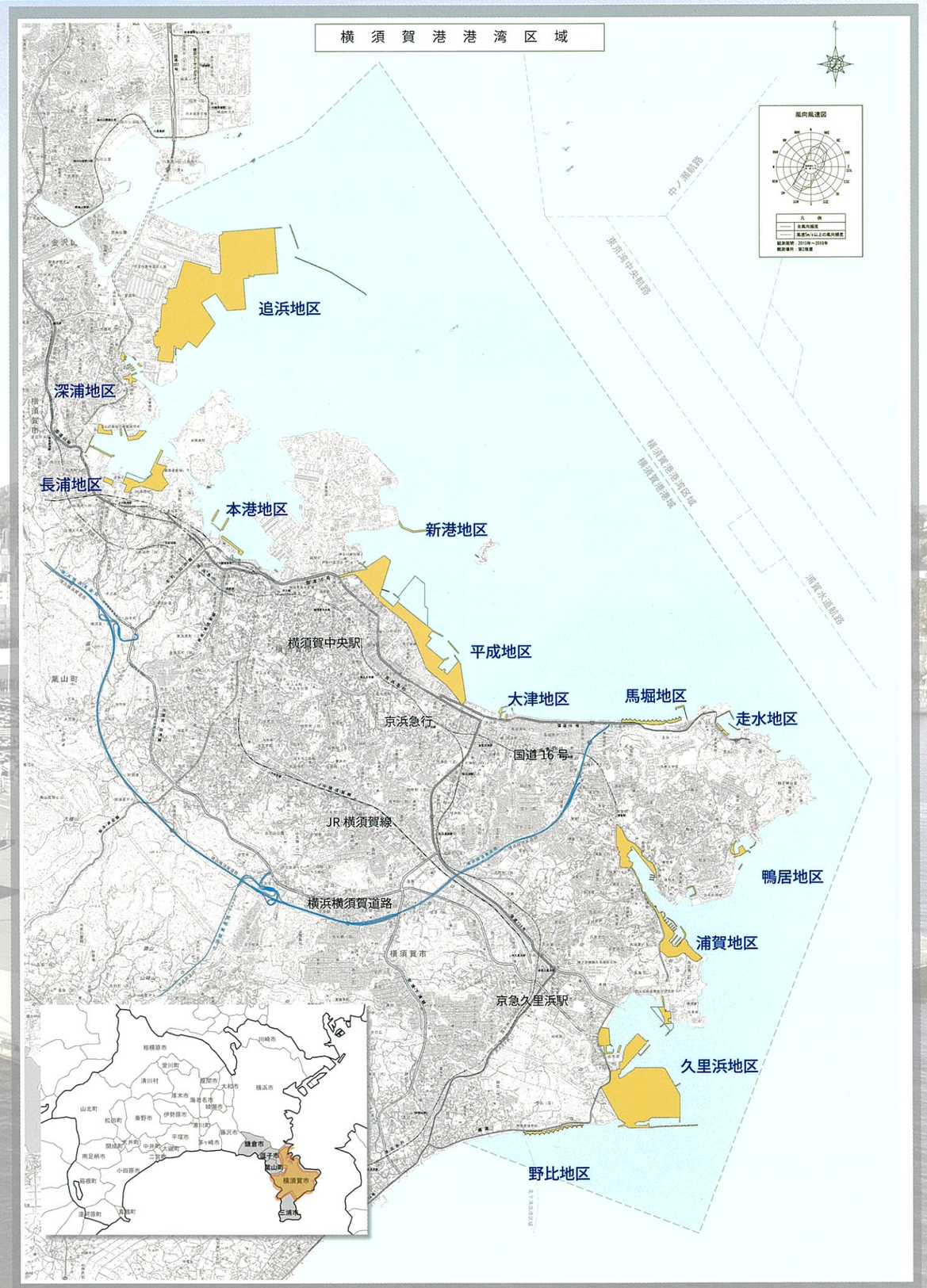
観光入込客数　延べ総数 1,031 万 9,452 人（令和5年）
1 位　三笠公園　210 万 3,500 人
2 位　ヴェルニー公園　159 万 2,800 人
3 位　観音崎公園　118 万 8,175 人

総予算額　3,410 億 7,800 万円（令和7年度当初予算）
一般会計　1,795 億 9,000 万円
特別会計　1,110 億 6,100 万円
企業会計　504 億 2,700 万円

アクセス

京急線利用

横　　浜 ---------- 約25分 ----------
品　　川 ---------- 約45分 ----------
羽 田 空 港 ---------- 約50分 ----------
横須賀中央

首都高速道路・横浜横須賀道路利用

横浜駅西口IC ---------- 約30分 ----------
銀座出入口(東京) ---------- 約50分 ----------
横須賀ＩＣ